

# JAC AWARD 2025

Producer  
Production Manager  
Best Practice  
Production Support  
Director  
Director Individual Application

# JAC AWARD 2025



JAC AWARDは広告映像制作業界の優れた若い人材の育成を目的として一般社団法人日本アド・コンテンツ制作協会が開催している顕彰制度です。

ディレクター部門は毎年出されるテーマにそった30秒のオリジナル作品を応募者本人が企画・演出します。

ディレクター個人応募部門は、ディレクター部門と同じテーマで30秒のオリジナル作品を原則一人で企画・演出・撮影・CG・編集（画音）を担当し制作します。

プロデューサー、プロダクションマネージャー部門、ベストプラクティス部門は携わった作品と資料を提出。

一次通過者は2分以内の自己PR動画を作成します。「プロデューサーカ」「プロダクションマネージャーカ」を評価するもので、個々の作品に対する制作能力や制作努力・制作アイデア等を評価ポイントとしており、“作品賞”ではないことが大きな特徴です。

プロダクションサポート部門は制作業務のサポート内容を評価する部門です。「制作部のサポートに関わる施策である事」以外に募集ルールはなく、「私達の活躍で、あのクオリティにつながった」、「制作部の労務を軽減した」、「SDGsに配慮した取り組みを実施した」など、広告制作各社における、ワークフロー改革等を実現したアイデア、取り組み、その具体的な工夫と成果を募集しています。

審査は過去の実賞者を含む応募者とほぼ同世代の若者の視点からも行われ、表彰式には約430名が参加し、多くの会員社の刺激となりました。



JAC AWARD2025 表彰式・クリスマスパーティー

[Key Visual](#)

[Opening Movie](#)

## ■ Producer 部門

対象作品 : 2024年8月9日～2025年7月31日に初公開された広告映像および映像を含むコンテンツ  
(CM、Web(動画コンテンツ)、VP、音楽PV、インタラクティブ、デジタルコンテンツ等)

応募資格 : JAC正・準会員社の40歳以下の社員

応募数 : 20名

受賞者数 : 3名

## ■ Best Practice 部門

対象作品 : 2024年8月9日～2025年7月31日に初公開された500万円(税抜)以下で制作した広告映像および映像を含むコンテンツ  
(CM、Web(動画コンテンツ)、VP、音楽PV、インタラクティブ、デジタルコンテンツ等)

応募資格 : JAC正・準会員社の社員 年齢、職種問わず

応募数 : 4名

受賞者数 : 3名

## ■ Director 部門

対象作品 : テーマにそった30秒のオリジナルの動画作品  
2025年のテーマ「 AI 」

応募資格 : JAC正・準・賛助会員社の35歳以下の社員

応募数 : 18名

受賞者数 : 4名

## ■ Production Manager 部門

対象作品 : 2024年8月9日～2025年7月31日に初公開された広告映像および映像を含むコンテンツ  
(CM、Web(動画コンテンツ)、VP、音楽PV、インタラクティブ、デジタルコンテンツ等)

応募資格 : JAC正・準会員社の35歳以下の社員

応募数 : 52名

受賞者数 : 6名

## ■ Production Support 部門

対象施策 : 2024年8月9日～2025年7月31日までに何らかの成果や効果があった施策

応募資格 : JAC正・準会員社の社員 年齢、職種問わず

応募数 : 2組

受賞者数 : 2組

## ■ Director Individual Application 部門

対象施策 : テーマにそった30秒のオリジナルの動画作品を原則一人で制作  
テーマはディレクター部門と共通

応募資格 : JAC正・準・賛助会員社の35歳以下の社員

応募数 : 11名

受賞者数 : 3名

# 審査員

## ■審査委員長

中島信也（JAC顧問／なかじましんやオフィス）

## ■Producer / Production Manager / Production Support 部門

### 【一次審査員（アワード委員）】

内田直志（アームズ）、大谷竜彦（東映シーエム）、岡田知之（ダンスノットアクト）、小栗洋平（東北新社）、  
賀内健太郎（博報堂プロダクツ）、木下健太郎（TYO）、佐久間裕二（ロボット）、佐藤一樹（THINGMEDIA）、  
佐藤典久（ハット）、高橋克尚（レイ）、長澤和孝（ADKクリエイティブ・ワン）、西原正浩（The Producers）、  
野中直（東北新社）、宮本理香（電通クリエイティブピクチャーズ）、元松敬介（FIELD MANAGEMENT EXPAND）、  
山田博之（AOI Pro.）、山本和樹（ピラミッドフィルム）、山本真也（太陽企画）、横山真吉（シースリーフィルム）

### 【Producer / Production Manager部門 最終審査員】

大内まさみ（太陽企画）、大野瑞樹（アクロバットフィルム）、城殿裕樹（KEYpro）、  
小瀧皐月（東北新社）、佐藤一樹（THINGMEDIA）、清水愛菜（電通クリエイティブピクチャーズ）  
白石道彦（電通クリエイティブピクチャーズ）、野中直（東北新社）、久松真菜（シースリーフィルム）

### 【Production Support 部門 最終審査員】

岩井泰樹（電通クリエイティブピクチャーズ）、大岡俊彦（電通クリエイティブピクチャーズ）、  
日下部泰寛（太陽企画）、中野舞子（GMO ENGINE）、みしまわかな（太陽企画）、渡邊信勝（ハット）

## ■ Best Practice 部門

### 【一次審査員/最終審査員】

秋山基典（キュー）、泉谷智規（高映企画）、碓氷和憲（日本デザインセンター）、  
梅村晃一（シースリーフィルム 名古屋オフィス）、大川嵩史（電通クリエイティブピクチャーズ）、  
大城立（ヴィス）、河原幸治（空気）、小林礼二（キラメキ）、高橋愛（東北新社）

## ■ Director 部門/ Director Individual Application 部門

### 【一次審査員】

今井伸（AOI Pro.）、内山岬（東北新社）、勝倉葉子、桐生康佑（太陽企画）、小林哲也（TYO）、  
近藤良隆（ENDOJI\_LABO.）、佐藤圭（電通クリエイティブピクチャーズ）、寒川未空（電通クリエイティブピクチャーズ）、  
杉本菜々恵、セトカアキ（THE BOND MANAGEMENT）、高橋亀善（ヴィス）、富田大秀（太陽企画）、  
長塩希代（博報堂プロダクツ）、西村征暁（太陽企画）、西遼太郎（TYO）、野中武蔵（デジタルエッグ）、寶榮夕貴、山口えり花

### 【最終審査員】

泉田岳（太陽企画）、佐藤渉（TYO WHOAREYOU）、田中翔太（電通クリエイティブピクチャーズ）、  
中野翔太、永井聡（JUKU）、野上可鈴（東北新社）、浜崎慎治、平田大輔（OND°）、松岡芳佳（CluB\_A）

# ファイナリスト

---

## ■ Producer 部門

天利英里子（太陽企画）、石丸将太（ピラミッドフィルム）、今野聖也（TYO）、  
村地洋祐（博報堂プロダクツ）、山田恭平（ソーダコミュニケーションズ）

## ■ Production Manager 部門

川崎涼香（TYO）、菊池梨央（TYO）、古賀充弘（ピラミッドフィルム）、柴田一平（AOI Pro.）、  
篠田里美（AOI Pro.）、中西麻未子（東北新社）、西園玲（AOI Pro.）、  
古田溪（読広クリエイティブスタジオ）、山崎一成（ギークピクチャーズ）、山下涼（東北新社）

## ■ Best Practice 部門

石丸将太（ピラミッドフィルム）、田中玄（GMO ENGINE）、鳥海優（GMO ENGINE）

## ■ Director 部門

井田芙和（デジタルエッグ）、岡嶺央（太陽企画）、桶本優（AOI Pro.）、クオン・ソンフン（東北新社）、  
小山瑛司（東北新社）、佐々木実花（TYO）、澤田晴（太陽企画）、白井一都（ハット）、那須川剛（ピラミッドフィルム）

## ■ Director Individual Application 部門

石井大揮（レイ）、内山岬（東北新社）、尾関彩羽（ピラミッドフィルム）、榊原遼太郎（TYO）、  
曽根裕貴（ピラミッドフィルム）、柳田淳之介（博報堂プロダクツ）

## ■ Production Support 部門

高井佑輔（パズル）、宮下剛（東北新社）

## ■ JAC AWARD 2025 Producer 部門 🏆 グランプリ 🏆



天利 英里子

太陽企画株式会社

入社年：2013年

### **受賞対象作品**

株式会社Clue &beシリーズ「always be yourself」

### **■ 受賞対象作品において、特に工夫したところ、苦心したところ**

代理店やプランナー不在のクライアント直案件だったため、進行管理に留まらず、ブランドコンセプトの咀嚼から企画立案、世の中への届け方の設計までを一貫して担いました。抽象的なオリエンから意図を汲み取り、監督・タレント・ロケ地を含めた最適解を自ら組み立てた点が、作品の核になっています。

### **■ 普段から心掛けていること**

現場の最高責任者であることを自覚しながら“プロデュース”をすることです。自分自身が心から納得できるかを判断軸に、企画・撮影・編集の全工程で対話を重ね、チーム全体が同じ方向を向ける現場づくりを心掛けています。

### **■ 今後の目標や抱負、将来ビジョン**

広告に限らず、映画やドラマ、書籍など領域を横断し、人と人を繋げることで新しいカルチャーを生み出すプロデュースに挑戦していきたいです。まだ交わっていない才能同士を結び、社会に長く残る表現を生み出す存在になることが目標です。

## 🏆 メダリスト 🏆



村地 洋祐

株式会社博報堂プロダクツ

入社年：2017年

### 受賞対象作品

日本中央競馬会

JRA春競馬スペシャルムービー「かわいいけいば VS イケメンケイバ」

## 🏆 審査委員長特別賞 🏆



山田 恭平

株式会社ソーダコミュニケーションズ

入社年：2016年

### 受賞対象作品

ソニーミュージックレーベルズ

ORANGE RANGE「イケナイ太陽(令和ver.)」



## ■ JAC AWARD 2025 Production Manager 部門 🏆 グランプリ 🏆



中西 麻未子

株式会社東北新社

入社年：2020年

### 受賞対象作品

公益社団法人2025年日本国際博覧会協会 シグネチャーパビリオン「いのちの未来」ZONE2 50年後の未来

### ■ 受賞対象作品において、特に工夫したところ、苦心したところ

展示映像というほぼ全員が未経験なジャンルだったので、制作方法や撮影手法を模索するところから始めました。みんなが手探りで進めていくしかない中、検証やサーチだけでなく、仮でも指針を決めて先導していくことを心がけました。

### ■ 普段から心掛けていること

楽しそうに仕事をする事です！

PMが楽しんで前向きに取り組んでいるか否かで、最終のアウトプットに大きく影響があると思っています。

いいものを作るために、いい関係、いい現場、いい空気感をつくることを心がけています。

### ■ 今後の目標や抱負、将来ビジョン

楽しく元気に働き続けたいです！

最高の仲間をたくさん作って、クオリティ高い仕事がたくさんできるように、

PMとしても、ゆくゆくはプロデューサーとしても頑張っていきたいです！

# Production Manager部門

## 🏆 メダリスト 🏆



川崎 涼香

株式会社TYO  
入社年：2021年

### 受賞対象作品

関西電力  
「ガクチカ卒業日」



篠田 里美

株式会社AOI Pro.  
入社年：2020年

### 受賞対象作品

ポカリスエット  
君はきっと誰かの太陽



西園 玲

株式会社AOI Pro.  
入社年：2023年

### 受賞対象作品

大塚製薬株式会社  
カロリーメイト 部活メイト 「今」篇

## 🏆 審査委員長特別賞 🏆

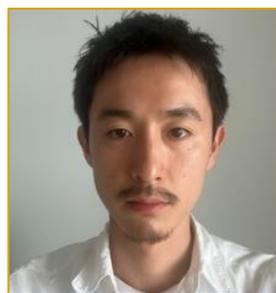


山下 涼

株式会社東北新社  
入社年：2021年

### 受賞対象作品

サントリー 伊右衛門  
「心に、京都を。春。」篇



古賀 充弘

株式会社ピラミッドフィルム  
入社年：2018年

### 受賞対象作品

ニッカウヰスキー  
「生きるを愉しむウイスキー」

## ■ JAC AWARD 2025 Best Practice 部門 🏆 グランプリ 🏆



石丸 将太

株式会社ピラミッドフィルム

入社年：2007年

### 受賞対象作品

特別区競馬組合 東京シティ競馬 生成AIで競馬CMつくってみた -羽田盃編-

### ■ 受賞対象作品において、特に工夫したところ、苦心したところ

そもそのスタッフィング。複数本制作する上で、AIクリエイターの担当配分の整理。  
生成AIというまだ方法論が確立していない中で、企画時から実現可能/不可の線引き。  
生成AIだけでは対応不可能な映像表現への解決策の提示 \* 具体的には静止画レタッチとオンライン編集。

### ■ 普段から心掛けていること

監督やクリエイターをはじめとする職人の方々と、クライアント・代理店の皆さんをうまくつないで、  
最大限のパフォーマンスをそれぞれに発揮して頂くこと。そして、制作した先にいる視聴者を忘れないこと。

### ■ 今後の目標や抱負、将来ビジョン

AIを活用することで既存クリエイターのアイデアをもっと拡張したいです。  
これまで映像の経験が多くないAIクリエイターと映像業界をつなぎたいです。  
ビジネスとして成立していけるように広告業界で生成AI活用の機運が下がらないようにしたいです。

# Best Practice部門

## 🏆 メダリスト 🏆



鳥海 優

GMO ENGINE株式会社  
入社年：2017年

### 受賞対象作品

YKK London Showroom 10th Anniversary

## 🏆 審査委員長特別賞 🏆



田中 玄

GMO ENGINE株式会社  
入社年：2023年

### 受賞対象作品

SHOWA NISHIKAWA meets HERALBONY



## ■ JAC AWARD 2025 Director 部門 🏆 グランプリ 🏆



佐々木 実花

株式会社TYO

入社年：2024年

### 最近の主な仕事

- UNIQLO Global SNSムービー「Everyday Wonder篇」
- 株式会社ユニバーサルホーム 企業「すご基礎心地ゆかダンス篇」

### ■「AI」というテーマに対して、どうアプローチしたか？

AIはもはや否定や肯定の対象という枠を超え、AIによって人間の価値や職業観が再定義される時代に入ったと考え、この企画に辿り着きました。「AIの効率性・データ分析の強み」と「人間の温かみ・非言語的コミュニケーション能力」が均衡する世界こそ、理想的なAIと人間の共存の形なのかもしれません。

### ■企画もしくは演出にあたり、工夫したところ、苦心したところ

冒頭の男女生徒は目立つ存在に設定、対照的に浅山は教師が特別気にかける必要のない真面目な生徒として、職員室の引き画で存在感を薄めることで、異変に気づける人間の教師の能力を強調しました。浅山に何があったのかは明示せず、自殺未遂や虐待、いじめなどの可能性も含め、観る側が非言語的に推測する余地を残しました。

### ■普段から心掛けていること／将来、どんなディレクターを目指しているか？

制作過程でお世話になる方々への感謝を忘れないように心がけています。  
謙虚に貪欲に学び続けるディレクターを目指したいです。



作品タイトル：大丈夫です。 

# Director部門

## 🏆 メダリスト 🏆



岡 嶺央

太陽企画株式会社  
入社年：2025年



作品タイトル：感動の理由 



澤田 晴

太陽企画株式会社  
入社年：2025年



作品タイトル：「作者裁判」 

## ■ JAC AWARD 2025 Director Individual Application 部門 🏆 グランプリ 🏆



榊原 遼太郎

株式会社TYO

入社年：2022年

### 最近の主な仕事

- 丸亀製麺・うどんつ「もっちもちで今日もしあわせ篇」
- ispace・HAKUTO-R Mission2・「日本を失敗できない国にしない篇」
- JCB・JCBカード「押し活篇」

### ■「AI」というテーマに対して、どうアプローチしたか

近年、AIは目まぐるしいスピードで進化を続けています。  
その進化の先にあるのは、もしかすると「肉体を持つ」という新たなフェーズかもしれません。  
もしAIが肉体を手に入れたとき、そこに芽生える“感覚”や“感情”とは何なのか——。  
そんな問いを、自分なりの解釈で映像として描きました。

### ■企画もしくは演出にあたり、工夫したところ、苦心したところ

30秒ですが世界観を感じてもらえるよう全てこだわりました。

### ■普段から心掛けていること／将来、どんなディレクターを目指しているか？

人生を1ミリでも前に進められる完パケを目指しています。



作品タイトル：ようこそリアルへ 

## 🏆 メダリスト 🏆



尾関 彩羽

株式会社ピラミッドフィルム

入社年：2025年

### 最近の主な仕事

○ AI Short movie 『HAPPY BIRTHDAY』

2026年は、CMディレクションに挑戦できるよう努めていきます！



作品タイトル：フンばってからがものづくり 

Fabulous !!



Director部門 🏆 審査委員長特別賞 🏆



井田 芙和

株式会社デジタルエッグ

入社年：2025年



作品タイトル：ちょっとだけ未来の話 

Director Individual Application部門 🏆 審査委員長特別賞 🏆



曾根 裕貴 (YUUUKI)

株式会社ピラミッドフィルム

入社年：2025年

最近の主な仕事

○ULTIMA「ULTIMA BRAND MOVIE」

○POSTMAN「POSTMAN」



作品タイトル：Hello, Dream. 

## ■ JAC AWARD 2025 Production Support 部門 🏆 グランプリ 🏆



施策名： puzzle 新人研修 "渋谷viewer"プロジェクト

株式会社パズル

応募代表者：高井 佑輔

### ■ 施策概要

パズルでは新人研修を現場で実際に働いている先輩社員が、講師となって3週間程度の新人研修を毎年行っています。

その中で、つくる研修と題してWEBサイトの企画から映像撮影/編集、デザイン、コーディングなど一通りの制作工程をゼロから自分の手で経験してみる研修があります。

その一環として、昨年度はオフィスが渋谷に移転したこともあり自社プロジェクトとして、渋谷をテーマにした企画をして、コンテンツ制作する研修を1年間かけて行いました。これにより、新入社員の制作業務への理解、企画力向上、技術チャレンジを図っています。

### ■ 施策において、特に工夫したところ、苦心したところ

「教えない」をテーマに新人研修を行っていたため、基本的には新入社員が考え抜いて解決できるよう導きながら制作を行っていました。そのため、特に企画フェーズは時間がかかってしまったのですが、クライアントがいる仕事ではなかなかできない時間の使い方をする事で、主体性を持って仕事に取り組む姿勢を作れたかなと考えております。

## ■ JAC AWARD 2025 Production Support 部門 🏆 グランプリ 🏆



施策名：クリエイティブ委員会

株式会社東北新社

応募代表者：宮下 剛

### ■ 施策概要

年度毎に行ってきた社内表彰を刷新し、プロダクション所属員（当社制作部に限らずグループ会社の方々など）約600名による全体投票を行う施策を通して、下記目標を掲げた。

- ① 自社グループの作品とクラフトカをより多くの社員に認知してもらう
- ② 皆で良い仕事を讃えることでモチベーションに繋げ、プロダクションのクリエイティブ力 & クラフト力UPを目指す
- ③ 委員会賞の選出作品を国内外の広告賞へ積極的に出品し、自社グループのブランド力UPへ繋げる。

### ■ 施策において、特に工夫したところ、苦心したところ

約600名による全体投票を如何にして成功させるか。社内外にアンテナを張り、適切な投票システムを決定。バックオフィスなど制作現場に直接関わっていない方々が困らないよう、投票の指針となる「ガイドライン」を作成。部署毎に担当者を配置し、投票状況を逐一チェック。投票率アップに貢献して頂いた。

## ■ 審査委員長 中島信也



生成AI時代を生きていく私たちにとって、今までになく重要性を増していることがあります。それは「人間力を磨く」ということ。これは何も今始まったことではありませんが、生成AIという巨人が登場した今「人間力を磨く」ということがこれまでに増して大事になってきてると私は考えています。

私たちのこの「アドコンテンツ制作の仕事」が人間力を磨く格好の機会になる、ということは前回の総括で指摘しました。かつては、すごいクライアントがすごいエージェンシーにすごいミッションを課し、すごいエージェンシーはそのミッションをすごいプロデューサーに与え、すごいプロデューサーはすごいプロマネとともにすごいミッションのプレッシャーに耐え、すごいディレクターのわがままに耐え忍んですごいCMを作る、というすごい流れがありました。仕事人として一人前になる「修行」が僕たちの人間力を高めてきたのです。しかし今、いくら人間力が磨かれると言われても、そんな修行、誰もしたくはありません。

今の若者にとって仕事選びの基準として重要なのは「その仕事に喜びを感じられるかどうか？」ということだと僕は思います。大変でもしんどくても「喜び」が感じられたら続けられるのではないのでしょうか？そしてもう一つ、「その仕事を通じて自分が成長できるかどうか？」という点。かつては「この会社は成長するかどうか？」という見方で仕事を選んだりもしていました。でも今の若者にとって大切なのは会社の成長よりも自分の成長です。自分自身がその仕事を通して成長できないとわかればどんな会社にも意味がない。現代の若者はそこを見ていると思います。

そんな若者にとって我々の仕事はどうなのか？今回のJACアワードへのエントリーしてくれた多くの若者の姿からこのアドコンテンツ制作という仕事が工夫次第で「喜びを感じることができる」という仕事になりうる、という強い確信を持ちました。それに加え「この仕事を通じて自分が成長できる」という大きなポテンシャルを持っている仕事である、ということのエントリーしてくれた若者たちが示してくれました。

「仕事に喜びを感じて自分が成長できる」これはこれから生きる若者にとっても、我々にとっても大変大きな魅力です。そしてこれこそが「人間力を磨く」鍵になる、と僕は確信しています。これからの世界、JACメンバーで力を合わせてこの仕事の魅力をもっともっと高めていきましょう！これはこの業界に育てられた僕たち大人の使命です。

受賞者の皆様、おめでとうございます！そして審査員の皆様、お忙しい中深い視点をもった審査をありがとうございました！これからもどうぞよろしく！

(昨年に引き続き、この文章は100%人間が書いております笑)







# Meet the Judges !!



# JAC AWARD 2025

主 催

一般社団法人日本アド・コンテンツ制作協会  
JAPAN AD.CONTENTES ASSOCIATION

特別協賛

公益財団法人 吉田秀雄記念事業財団